

情報連絡員総括表（2019年12月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60名：回収率 100%）

○2019年12月のDI値は、前月との比較において「売上高」を含む5指標において悪化、「収益状況」が横ばい、「業界の景況」を含む3指標が改善する結果となった。

2020年のオリンピック・パラリンピックに伴う受注やインバウンドに期待する声が多い。

○「製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」以外の6指標が悪化、「取引条件」と「資金繰り」の2指標が横ばいとなった。

幅広い業種で、原材料費の値上がりや売り上げのダウン等、景況悪化のコメントが多い。米中貿易摩擦の影響も長期化している。

○「非製造業」では、前月との比較において、「収益状況」「業界の景況」を含む4指標が改善する結果となった。

消費増税の影響からか例年と比較し低調とのコメントが多かったが、鮮魚小売業は昨年より取引量・金額ともに増加したとのコメント有り。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2019年12月	-36.7	-9.3	-5.0	-8.4	-35.0	-11.7	-30.0	-25.0	-41.6
2019年11月	-31.6	-16.3	-1.6	-10.0	-35.0	-15.0	-23.3	-20.0	-43.4
増減	-5.1 ↓	7.0 ↓	-3.4 ↓	1.6 ↑	0.0 -	3.3 ↑	-6.7 ↓	-5.0 ↓	1.8 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2019年12月	-46.7	-10.0	ポイント	↘	-26.7	0.0	ポイント	-	-36.7	-5.1	ポイント	↘
	2019年11月	-36.7				-26.7				-31.6			
在庫数量	2019年12月	-16.7	-3.3	ポイント	↗	7.7	30.8	ポイント	↘	-9.3	7.0	ポイント	↘
	2019年11月	-13.4				-23.1				-16.3			
販売価格	2019年12月	-3.4	-3.4	ポイント	↘	-6.6	-3.2	ポイント	↘	-5.0	-3.4	ポイント	↘
	2019年11月	0.0				-3.4				-1.6			
取引条件	2019年12月	-3.3	0.0	ポイント	-	-13.3	3.4	ポイント	↗	-8.4	1.6	ポイント	↗
	2019年11月	-3.3				-16.7				-10.0			
収益状況	2019年12月	-43.4	-10.1	ポイント	↘	-26.6	10.1	ポイント	↗	-35.0	0.0	ポイント	-
	2019年11月	-33.3				-36.7				-35.0			
資金繰り	2019年12月	-10.0	0.0	ポイント	-	-13.4	6.6	ポイント	↗	-11.7	3.3	ポイント	↗
	2019年11月	-10.0				-20.0				-15.0			
設備操業度	2019年12月	-30.0	-6.7	ポイント	↘					-30.0	-6.7	ポイント	↘
	2019年11月	-23.3								-23.3			
雇用人員	2019年12月	-16.6	-6.6	ポイント	↘	-33.3	-3.3	ポイント	↘	-25.0	-5.0	ポイント	↘
	2019年11月	-10.0				-30.0				-20.0			
業界の景況	2019年12月	-53.3	-3.3	ポイント	↘	-30.0	6.7	ポイント	↗	-41.6	1.8	ポイント	↗
	2019年11月	-50.0				-36.7				-43.4			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0			
	繊維工業	0	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	0	1	0	2			
	木材・木製品	1	2	0	1	0	2	1	0	1	2	0	1	0	1	1	1	0	3			
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			
	窯業・土石製品	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	1			
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2			
	一般機器	0	3	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	3	0	0	0	3			
	電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0			
	輸送用機器	1	3	0	1	0	0	0	1	1	3	1	0	1	1	0	2	0	3			
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1				
非製造業	卸売業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	X								
	小売業	1	3	2	1	1	1	0	2	0	4	0	2					0	2	0	3	
	商店街	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2					0	1	0	3	
	サピス業	0	1	X		0	1	0	0	1	0	0	0					0	2	0	0	0
	建設業	1	2			1	1	0	1	1	3	1	1					0	2	1	1	
	運輸業	0	3	X		0	0	0	1	0	1	0	0					0	0	0	3	0

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> 10月の台風19号による浸水被害で、生産設備の修繕や一部製品の廃棄など想定外の費用が発生した。それにより顧客からの注文をこなすのに精一杯で年末用の商材まで手が回らないという声が多数あった。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 前月同様に変化が無く低迷が続いている。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> 前月に続き売り上げが2ヵ月連続のダウンとなり一段と厳しい環境。
木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な住宅着工指数等を見ると金融機関の融資問題や、大手賃貸住宅メーカーの施行不備問題などの影響か貸家を中心に11月前年同月比12.7%減と大きく減少している。その中でも本組合は、11月12月ともに前年比が横ばいであり堅調に推移している。
パルプ・紙 紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> 家庭紙の出荷については年末需要で荷動きが良かったが、運送に関しては運搬会社の運転手不足が問題になっている。
印刷 同関連業	<ul style="list-style-type: none"> 用紙の値上がり率が利益率の低下を招いていると強く感じる。下請体質、受注産業である印刷業界に働き方改革のしわよせを感じる。 いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーとなり関連の仕事が本格的に動き出すのに期待している。
セメント 同製品	<ul style="list-style-type: none"> 売上高が対前年比95%となり、6月頃まで低調が続くと予測している。 原材料費が値上げ傾向にある。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 生産高は前年度月比16%減少した。 雇用に改善が見られる。 売上高及び収益状況が急変している企業がある。
生産用 機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 中国経済落ち込みの影響が大きい。世界的な貿易問題が影響し、設備投資需要が低下している。 10月頃より50%以上造船の受注が落ち込んでいる2~3年程冷え込むのではないかと危惧する。 受注案件が再来年にまで繰り延べになる事例も出てきており、来年度の不透明感が一層強まっている。
電気 機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ルームエアコンは堅調な販売により昨年を上回る生産を継続している。冷蔵庫は消費増税による需要増加の影響と新機種効果により生産は増加した。業務用エアコンは引き続き販売が好調であり、生産は昨年並みに推移した。
輸送用 機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 組合員企業の売上平均値は、本年4月から連続して減少している。 生産量が昨年並みまで戻ってきた。次月以降もこの状況が続くことを期待する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 生産ラインの海外への移転、資材調達においての海外との価格競争の激化により、コスト低減がより一層求められてきている。

非製造業

セメント 卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害普及関連工事の発注が見られはじめ、8ヶ月ぶりに前年実績を上回ったが、依然として荷動きは鈍い。
機械器具 小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般的に景況悪化の傾向が見受けられる。消費増税でしばらく続くものと思われる。
鮮魚 小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引量・金額ともに増加し、昨年より忙しかったとの声が多く聞かれた。
各種商品 小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税の影響かクリスマスフェアでの人出が少なかった。 ・ 暖冬により冬物衣料の売上げが低調だった。 ・ 年末は帰省客等で賑わった。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年比で大きな変化は無いが、12月23日(昭和天皇誕生日)が平日となったため売上高が若干減少傾向であった(去年は3連休)。 ・ インバウンドも減少気味なのでオリンピック効果に期待する。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域により、手持ちの工事がある組合員と減少傾向にある組合員とで差が出ている。 ・ 官庁より年度末完成の土木工事が、民間からは12月完成の建築工事が数多く発注され、忙しい状況が続いている。
道路貨物 運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10、11月に比較すれば荷物情報は増加したものの、例年の年末と比較すると低調であった。 ・ 昨年と比較すると年間を通して減少傾向で、県外から流入する車両も少なかった。貨物輸送も例年と比較し減少している。

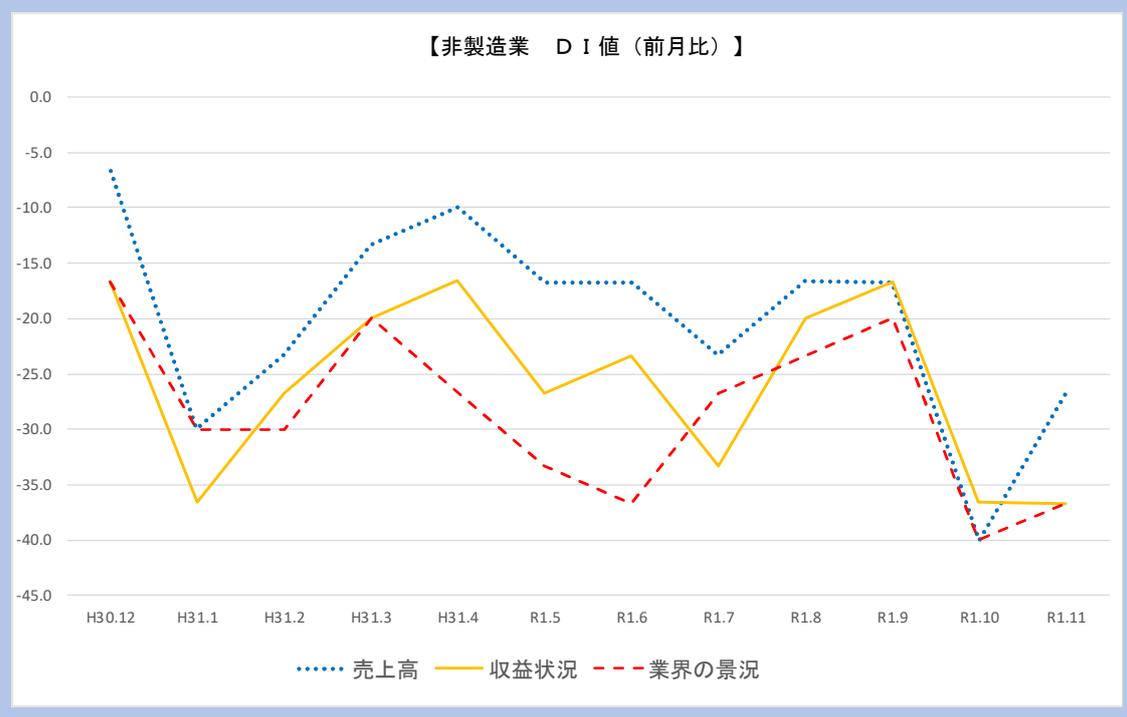
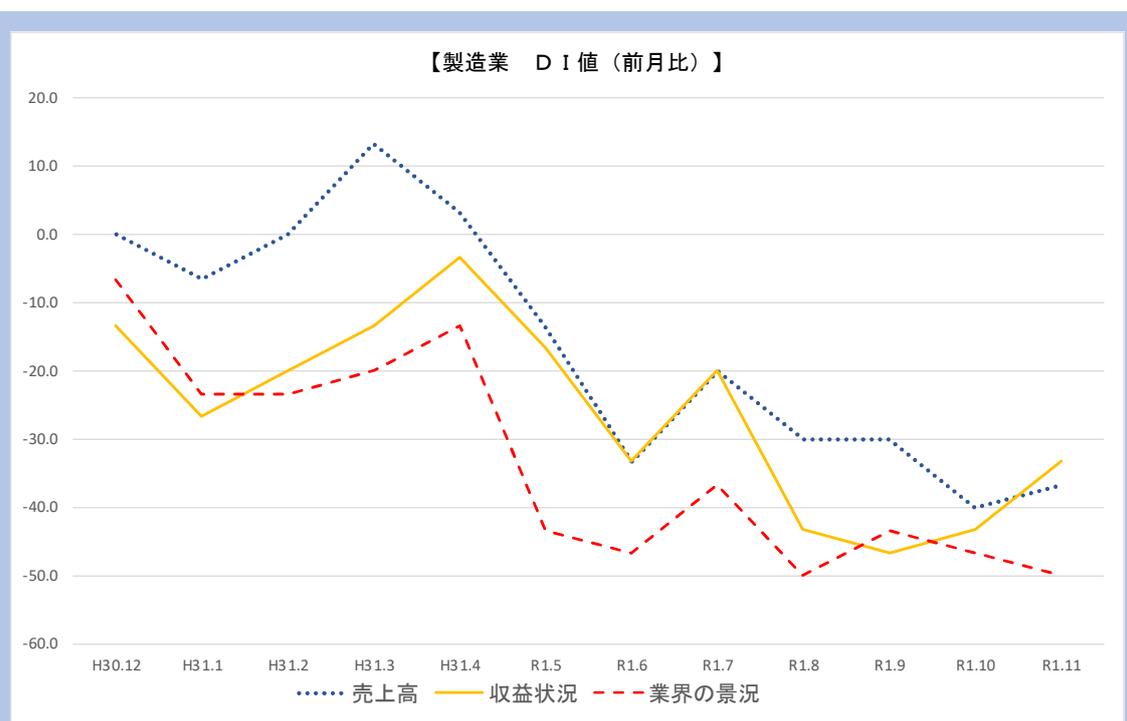
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2018年12月期～2019年12月期までの推移

全体	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
売上高	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7
収益状況	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0
業界の景況	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6

製造業	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
売上高	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7
収益状況	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4
業界の景況	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3

非製造業	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
売上高	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7
収益状況	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6
業界の景況	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0



■2018年12月期～2019年12月期までの推移

売上高	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
製造業	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7
非製造業	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7

収益状況	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
製造業	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4
非製造業	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6

業界の景況	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
製造業	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3
非製造業	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0

